

令和元年度 教育委員会点検・評価報告書  
【平成 30 年度事業】

令和元年 11 月  
西予市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成 18 年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成 26 年 3 月に策定しました。その後、教育委員会では、この基本計画の一部改訂を平成 28 年 3 月に行っております。

今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただきご意見、ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

令和元年 11 月

西予市教育委員会

## I 学識経験者の意見への対応状況

平成 29 年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、平成 30 年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（平成 29 年度事業）	対応状況 （平成 30 年度の取組）
<b>1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進</b>	
<b>(1) 確かな学力の育成</b>	<b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b>
<p>①学力学習状況調査について全国平均を上回ったことは評価できるが、県平均や全国平均との比較だけを追い求めているといろいろな問題が出てくる可能性がある。子どもたちの学習意欲、学習姿勢にしっかり重点を置いた教育を行ってほしい。そのことにより生きる力は備わってくるのではないかと思う。（確かな学力の育成（施策））</p> <p>②生徒国際交流について、ニュージーランドへ行っているが、行先としてニュージーランドが長いように感じる。交流があつて、受け入れ態勢が整っているということはあるが、英語圏で治安がいい、もう少し近い場所を選定すれば、費用負担が抑制され、参加人数を増やすことができるのではないか。（生徒国際交流事業）</p>	<p>①学校においては、授業を重視し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に継続して取り組んだ。調査結果の比較・分析から得た課題や長所を、授業改善に生かしていくよう努めた。</p> <p>【担当：学校教育課】</p> <p>②ホームステイ先での英語のみのコミュニケーションが、英会話習得に効果的であると考えている。近場での海外派遣も検討したが、ホームステイ文化があり、英語圏で治安が良いとされているのは現時点ではニュージーランドであり、平成 30 年度はニュージーランドに派遣した。派遣場所等、検討し費用抑制になるよう努める。参加人数については、30 年度増員を行い、実施した。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
<b>(3) 健やかな体の育成</b>	<b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b>
<p>③学校給食について、地産地消に取り組むということはよく聞くが、旬の時期にその食材ばかりを使うことはできなく、献立によって地元食材を仕入れる難しさはあると思う。給食運営委員会は、学校長や PTA に対して給食センター側からの報告という形になっているような気がする。運営委員会で、産直市の関係者や認定農業者等の方々と協議するようなことがあるのか。緊密に連携を行う必要があると思っている。（せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業）</p>	<p>③運営委員会での協議は実施していないが、連携を少しずつ進めることができた。生産者と教育委員会と学校での交流給食会や西予市産の減農薬米の使用などを実施したところである。今後も連携について、検討に努めていきたい。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>
<b>(5) 特別支援教育の充実</b>	<b>評価結果&lt;順調&gt;</b>
<p>④特別支援学級への生活支援員の要望が毎年出てきているようだが、少しでも要望に応えられるようにしていただきたい。（小学校、中学校生活支援員設置事業）</p>	<p>④平成 30 年度要望で生活支援員が必要となった学校には、児童 2 人に対し生活支援員 1 人の体制をとるなど、生活支援員全体の配置を調整することで、要望に応えている。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>

<p><b>(7) 安全・安心な学校づくりの推進</b></p>	<p><b>評価結果&lt;順調&gt;</b></p>
<p>⑤宇和中学校の学校評価委員会の中で、「不審者等の心配もあるが、平成 29 年度は自転車による交通事故が多く心配している」という意見があった。特に心配しているのが、鬼窪から中学校までの商店街を含む狭い道路が非常に危険ということであった。警察に巡回をお願いはしているが常時巡回することもできず、有効な手段を打ち出せていない。朝夕の登下校時は近道として車の交通量が多く、なおかつスピードを出している車が多い。対策として、青パトに協力を求めるなど教育委員会として、対策を考えていただくとありがたい。(学校や地域の安全確保の推進)</p>	<p>⑤通学路の安全確保において、継続して検討しているが、警察による巡回パトロールと児童生徒への交通指導の実施が現状での対策である。有効な対策について見いだせないところであるが、関係機関等と引き続いて検討に努めたい。 【担当：学校教育課】</p>
<p><b>2 ライフステージに応じた社会教育の推進</b></p>	
<p><b>(2) 公民館活動の推進</b></p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p>
<p>①社会教育団体と緊密に連携をとることによって団体育成にもつながるので、今後も団体活動をバックアップしていただきたい。(社会教育団体育成事業)</p>	<p>①補助金交付や事務局支援等で団体活動のバックアップに努めた。豪雨災害により、中止や延期となった事業もみられたが、概ね順調に事業実施、活動推進できた。 【担当：生涯学習課】</p>
<p><b>(4) 人権・同和教育の推進</b></p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p>
<p>②人権の集いを市内 3 か所で実施されているが、全市に周知して、すべてに参加されたい方のために開催日をずらして開催してはどうか。(人権のつどい事業)</p>	<p>②3 会場の開催日調整に努めて計画したが、豪雨災害により宇和会場は規模を縮小して 12 月 4 日、野村会場は 1 月 20 日に開催した。城川会場は講師の都合により中止した。今後も開催日調整や全市周知を行い、参加機会の拡充に努める。 【担当：生涯学習課】</p>
<p><b>3 人生を豊かにする文化芸術の振興</b></p>	
<p><b>(1) 文化財の保護と活用</b></p>	<p><b>評価結果&lt;順調&gt;</b></p>
<p>①文化財の継承と次世代を担う人材育成について、文楽等で人材育成を行っていると思うが、子どもたちが西予市に残ってもらえれば人材育成につながるがなかなか難しいと思っている。実際活動している方は高齢の方が多く、その後を引き継ぐ中間層に対して自分たちの文化財を守っていくという意識を高めるための手段を講じていかないと、後継者が不足して公演もできなく、更には後継者が 1 人もいなくなり途絶えるという事態が起きてくることになる。文化財があることは知っていても自分たちで守るということまでに意識は行ってないという心配がある。(文楽保存伝承活動事業)</p>	<p>①文化財を保護継承するには、歴史講演会や文化財を活用したイベントを開催し、その価値や魅力を継続的に発信していくことが必要であると考え、30 年度も事業を行った。また、次世代を担う人材育成につながる事業として、人間国宝吉田先生をお迎えして、文楽の楽しさや魅力を子どもたちに伝える「子供文楽交流会」を 7 月に開催予定していたが、豪雨災害により止む無く中止となった。来年度改めて開催したい。 【担当：スポーツ・文化課】</p>

<p><b>(3) 文化活動の環境と基盤の整備</b></p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p>
<p>②三瓶文化会館の管理運営について、宇和文化会館が管理運営の委託を受けて行っているが、管理運営費4,700万円が投入されて、イベントをどれくらい行っているのか。三瓶文化会館、朝日文楽会館、宇和には宇和文化会館と大規模な文化的施設が近隣に3か所あり、利用価値がどの程度あるのか、また将来的にどのように有効活用していくのか等を含めて、3つの文化的施設の在り方を考えていく必要がある。4,700万円あれば、生活困窮者の奨学金の返済を半額免除するなどしたほうが、公費を有効に活用できるのではないかと。(三瓶文化会館管理運営事業)</p>	<p>②30年度、三瓶文化会館では、宇和文化会館受託分の自主事業で歌手「キロロ」コンサートを、教育課主催事業で宮中雲子音楽祭や文化祭等の事業を実施すると共に、市民の文化活動の貸館事業としても多く利用された。宇和・三瓶文化会館とも、施設老朽化により、今後計画的に設備改修を実施していきたい。また、3文化施設が持つ各々の設備の特有性を生かした事業を図ると共に、多くの市民が文化に触れ楽しむためにも、市民で支える文化施設という意識付けが今後の課題と考える。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
<p><b>4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興</b></p>	
<p><b>(1) スポーツの普及・推進</b></p>	<p><b>評価結果&lt;概ね順調&gt;</b></p>
<p>①総合型スポーツクラブは、市町村合併が進んでスポーツまで自治体が補助することはできないため、自らで運営するという本質になっている。自分たちで参加費を集めて運営していくというのは、商業スポーツが充実している都会的発想で過疎地域では難しいところがあるのではないかと。(総合型スポーツクラブへ補助事業)</p>	<p>①3つのスポーツクラブでは、スポーツを自らが楽しみ健康増進につなげ、スポーツを通して地域の交流促進へつながるという視点で、30年度も数々の健康教室やスポーツイベントを継続的に実施した。一律5万円の補助金では、活動内容の展開は難しいところはあるが、今後市が策定する第二次スポーツ振興計画とも位置付けながら、スポーツの普及・推進につなげたい。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>

## II 西予市教育振興基本計画（平成26年3月策定）について

### 1 基本理念

#### 『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

### 2 基本目標

#### 「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

#### 「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

### 3 重点目標

#### 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

#### ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

#### 人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

#### 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

#### 4 施策の体系

##### ○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実 ②学校と家庭、地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切に集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的生活習慣の定着 ③地産地消による食育の推進
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の充実	①個に応じた支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実 ③学校組織の活性化
	(9) 幼稚園教育の充実	①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実
	(10) よりよい教育環境づくりの実現	①公立学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中一貫教育の検討

##### ○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた 社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化 芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	①古代ローマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつくる 生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) えひめ国体の推進	①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実

### Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

#### 1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等） 第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。
---

#### 2 点検・評価の対象、実施期間

##### (1) 点検・評価の対象

- ・平成 30 年度における教育委員会の活動状況
- ・平成 30 年度における教育委員会の取組施策

##### (2) 点検・評価の実施期間

令和元年 7 月～令和元年 11 月

#### 3 点検・評価の方法

##### (1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

##### (2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者 3 名から評価会議で意見を伺います。

氏 名	団体・役職名
中橋 治彦	元公立学校長
増田 敬介	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

#### 4 自己点検・評価の構成

##### (1) 施策の評価（A表）

「施策の体系」の表に示した 21 の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表 1 の区分により総合的に評価します。



(表 1)

順	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	平成 30 年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、21 の施策の中で設定した 14 の成果指標の達成状況を下記表 2 の区分により評価し分析しています。

(表 2)

A：達成済
B：概ね達成
C：未達成
D：不明

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表 2 の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	平成 30 年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成 24 年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする平成 30 年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における平成 30 年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

#### IV 点検・評価結果

##### IV-1 教育委員会の活動状況

###### 1 教育長及び委員任命状況

(平成30年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	保木 俊司	男	公務員	H28.6.10 H31.6.9	1		常勤
職務代理者 教育長	山本 恵子	女	無職	H27.6.10 H31.6.9	3	H30.6.10 ～ H31.6.9	非常勤
委員	樋口 美和	女	会社員	H28.6.10 H32.6.9	2		非常勤
委員	平岡 長治	男	無職	H29.6.10 H33.6.9	5		非常勤
委員	古谷 和彦	男	無職	H30.6.10 H34.6.9	1		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

###### 2 会議開催状況

###### ①会議開催数・付議案件数

定例会	12回
臨時会	1回
案件	19件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
5月22日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
	西予市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
6月26日 定例会	西予市立学校給食運営委員会及び支部運営委員会規則の一部を改正する規則制定について
	西予市社会教育委員の委嘱について
7月24日 定例会	西予市立学校給食運営委員会及び支部運営委員会規則の一部を改正する規則を廃止する規則制定について
8月29日 定例会	平成31年度使用中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について
	平成31年度使用小学校教科用図書（道徳を除く）の採択について
11月28日 定例会	西予市公民館長の任命について
2月28日 定例会	西予市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則制定について
3月28日 定例会	西予市学校事務の共同処理に関する規則制定について
	西予市図書交流館条例施行規則の制定について
	西予市スクールバス運行及び利用に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市宇和運動公園運営協議会規則を廃止する規則制定について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市民図書館長の任命について
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

・平成30年度 傍聴人 6人

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問の他、各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ① 議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（3回）
- ② 学校訪問・・・・・・・・小学校（12校）、中学校（5校）
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・90回
- ④ その他の行事・・・・・・・・32回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市新任式</li> <li>・市内小学校入学式</li> <li>・市内中学校入学式</li> <li>・市内県立学校入学式</li> <li>・市連合婦人会総会</li> <li>・市所属部会総会</li> <li>・県視聴覚教育協会理事会</li> <li>・南予教育事務所管内校長研修会</li> <li>・市公民館連絡協議会総会</li> <li>・市公民館職員研修会</li> <li>・市青少年補導委員会総会</li> <li>・教育支援委員会</li> <li>・四国都市教育長連絡協議会</li> </ul>		八幡浜街道笠置峠越ミニウォーク
5	定例会 (1)	臨時会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市育英会理事会</li> <li>・朝霧湖マラソン大会</li> <li>・管内市町教育委員会連合会総会</li> <li>・管内市町社会教育課長等会</li> <li>・市PTA連合会総会</li> <li>・市青少年育成協議会定例委員会</li> <li>・市内小学校運動会</li> <li>・県人権教育協議会西予支部総会</li> <li>・市スポーツ推進委員協議会総会</li> <li>・県市町教育長会議</li> <li>・全国都市教育長協議会</li> <li>・えひめ教育の日推進協議会</li> <li>・県市町教育委員会連合会理事会</li> <li>・学び舎開校式（三瓶）</li> </ul>	明浜小 明浜中 多田小 三瓶中	
6	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市中学校総合体育大会</li> <li>・市中学校陸上、水泳大会</li> <li>・市教育支援委員会</li> <li>・市連合青年団代議員総会</li> <li>・県壮年会連絡協議会総会</li> <li>・市愛護班連絡協議会総会</li> <li>・学び舎開校式（城川）</li> <li>・社会教育複合施設新築工事起工式</li> </ul>	中川小 石城小 宇和町小 田之筋小 皆田小 宇和中 野村小 野村中 惣川小 大野ヶ原小 三瓶小	

7	定例会 (1)	臨時会 (1)	・各支部小学校水泳記録会	城川小 城川中	・「社会を明るくする運動」西予地区出発式
8	定例会 (1)		・生徒国際交流事業（ニュージーランド）結団式、解団式 ・市校長会研修会		
9	定例会 (1)	定例会 (1)	・市内中学校運動会 ・市内小学校運動会 ・市内中学校新人体育大会 ・教育支援委員会 ・市社会教育委員会 ・文化財保護審議会 ・学び舎開校式（野村）		
10	定例会 (1)		・市内小学校陸上記録会 ・県視聴覚教育研究大会 ・県公民館研究大会 ・南予地区人権・同和教育研究協議会 ・愛媛県へき地・地域教育研究大会 ・市歴史文化講演会 ・文化財保護審議会 ・えひめ教育の日推進大会 ・せいよ婦人大会 ・全国「かまぼこ板の絵」展覧会表彰式		国際交流の夕べ 西予市俳句大会
11	定例会 (1)	臨時会 (1)	・第1回市総合教育会議 ・宮中雲子音楽祭 ・県小中学校長研究大会 ・乙亥大相撲 ・市教育研究大会 ・各町文化祭・芸能祭 ・県人権、同和教育研究大会 ・市内小中学校音楽発表会 ・青少年健全育成協議会		・西予市戦没者追悼式
12	定例会 (1)	定例会 (1)	・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・市駅伝競走大会 ・市教育支援委員会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・教育支援委員会 ・市人権のつどい（宇和会場） ・県文楽合同公演大会		・市仕事納め式

1	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市成人式</li> <li>・管内市町教育長会議</li> <li>・各町駅伝競走大会</li> <li>・学び舎開校式（明浜）</li> <li>・文化財保護審議会</li> <li>・市歴史文化講演会</li> <li>・市人権のつどい（野村会場）</li> <li>・小学生夢チャレンジサポート事業</li> <li>・市PTA大会</li> </ul>		・市仕事始め式
2	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町駅伝競走大会</li> <li>・学校体育会理事会</li> <li>・南予管内市町等教育委員会連合会研修会</li> <li>・市歴史文化講演会</li> </ul>		・市消防出初め式
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内県立学校卒業式</li> <li>・市内中学校卒業式</li> <li>・市内小学校卒業式</li> <li>・市内幼稚園卒園式</li> <li>・市社会教育委員会</li> <li>・市歴史文化講演会</li> <li>・文化財保護審議会</li> </ul>		・退任式
合計	臨時会 (1) 定例会 (12)	臨時会 (3) 定例会 (4)	90回	小学校 (12) 中学校 (5)	32回

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況	
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	順調	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実			
			②学校と家庭、地域との連携			
			③ICTの活用と情報教育の推進	・ICTを活用した授業の割合	A	
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳の時間の充実			
			②互いの関わりを大切に集団活動の充実			
			③いじめ根絶に向けた取組の充実			
			④情報モラル教育の充実			
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上			
			②基本的な生活習慣の定着			
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	③地産地消による食育の推進			
①特色ある学校づくりの推進						
(5) 特別支援教育の充実	順調	①個に応じた支援の充実				
		②生活支援員の配置				
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①人権・同和教育の充実				
		②いじめや不登校への対応				
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①防災教育の推進				
		②学校や地域の安全確保の推進				
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①市所属部会、市教育研究大会の充実				
		②研修活動の充実				
		③学校組織の活性化				
(9) 幼稚園教育の充実	概ね順調	①充実した幼児教育の提供				
		②子育て支援の充実				
(10) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	①公立学校の再編推進				
		②放課後の子育て支援				
		③校舎の改築及びICT設備の整備等	・耐震化率	A		
		④小中一貫教育の検討				
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供			
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数	C	
			②社会教育関係団体の育成と連携			
			③西予市結婚推進委員会の取組			
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数 ・移動補導センター回数	C C	
			②家庭、地域の教育力の向上			
③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進						
(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実				
		②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成	・地区人権・同和教育懇談会開催回数	B		
		③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実				
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	①読書活動の普及啓発	・利用者数（図書を借りた人数）	B		
		②図書館サービスの充実	・利用者数（図書を借りた人数）	B		
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・文化財を見に行ったことのある人の割合	D	
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成	・文化財を見に行ったことのある人の割合	D	
	(2) 文化の振興	概ね順調	①文化の継承、次世代を担う人材の育成			
			②文化芸術、生活文化の振興	・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合	D	
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	①文化施設の整備・充実	・施設や展示物の満足度	D	
			④古代ロマンの里構想の推進	・古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合	D	
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進			
			③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進			
④文化的景観保護推進事業の推進						
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援	・市民の週1回以上のスポーツ人口率	D	
			②スポーツ施設の整備・充実			
(2) えひめ国体の推進	概ね順調	①競技スポーツの振興と人材育成				
		②関係施設の整備・充実				

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

施策	(1) 確かな学力の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>学力向上推進計画に基づき、学校教育の質の保証・向上に取り組み、平成29年度から実施している新事業の利用者も増え、学習習慣や主体的に学ぶ態度を育てる上で効果が出ている。</p> <p>国際化に対応できる人材育成の観点からALTの英語授業や国際交流事業を通じ、英語力の強化を行うことができたが、新小学校学習指導要領の実施を勘案するとALTの配置は十分とはいえない。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	10,468
取組事業	生徒国際交流事業		
事業内容 実績 課題・今後の方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーランドへ派遣する。派遣までに事前説明会・事前研修を実施して、ホームステイの予備知識、研修目的などの徹底を図る。派遣先ではホームステイをしながら、語学学校への短期入学や現地学校に2日間訪問し、体験授業などを行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>8/6～8/17(12日間)市内の中学3年生18人を選考し(作文・面接等で意欲を確認)ニュージーランドへ派遣した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>生徒は参加したことで自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上が見られた。国際感覚と広い視野を持った次代を担う人材(リーダー)に育ち、いろいろな場で生かすことができた。西予市代表として参加する生徒の目的意識や意欲がなければ、単なる体験となってしまう可能性があるため、学力の向上につながるよう研修の目的を理解させ海外派遣する必要がある。</p>		



現地学校での交流風景



マオリ文化の体験学習



(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	632
取組事業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 市内の小学6年生の学級又は学校(小規模校)に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p><b>【実績】</b> 募集対象学校・学級数：12校、16学級 応募学校・学級数：5校、7学級 実現した夢：1事業</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 児童が持つ夢を叶えるために、自ら考え実行するための行動力を身に付けることができ、児童からも、今回の経験が新たな夢や新しいことに挑戦する時に役立つ、との感想を得た。 一方、応募数は、昨年につき少なかったため、次年度の募集では、応募方法、選定基準を見直す必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	23,511
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> JETプログラム指導者4名と委託外国人指導者1名が、小中学校において、外国語活動や英語授業の補助的指導者となって英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p><b>【実績】</b> 中学校には概ね週2、3日、小学校には週1、2日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、5名ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の全てで3.6点以上(4点満点)であった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 令和2年度から小学校3・4年生で外国語活動が新設され、5・6年生で外国語が教科として完全実施になる。外国語でのやりとりを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力等を育成するためには、ネイティブ・スピーカーとしてのALTの役割は非常に大きい。令和元年度9月よりALTを1名増員して対応する。</p>		

(B表)

事務事業等	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	3,201
取組事業	地域子ども学び場事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 学力向上に向けた取組みの一環として、市内の児童の希望者に対して学習支援を行う環境を整備する。名称を「学び舎」とし、教員OBを中心とした地域指導者を活用して、毎週土曜日の午前中を基本として学習会を実施する。</p> <p><b>【実績】</b> H29年度に宇和上と明浜、H30年度に三瓶と城川と野村で開講した。H30年度は5会場で計161回開講し、延べ888人の児童が参加した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 「学び舎」の認知度が高まり、年々参加児童が増加している。地域指導者による個に応じた学習支援は、望ましい学習習慣や主体的に学ぶ態度の育成につながると考える。令和元年度は、宇和下地区の開講に向けて準備中であるが、本事業を持続していく上で予算と指導者の確保が大きな課題である。</p>		

(A表)

施策	(3) 健やかな体の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	各種大会出場への補助は、大会参加への負担を軽減し、部活動への参加意欲の向上に寄与している。健やかな体の育成においては、家庭との連携が重要な要素であり、学校と家庭が相互に連携を深め、基本的な生活習慣の定着にも努めている。また、食事についても、地域食材を活用した安全安心な学校給食の提供に努め、食育の推進を図っている。

## ☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	691
取組事業	小学校各種大会出場補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>スポーツ及び文化活動等教育活動の推進及び体力の維持・向上に寄与するため、各学校からの申請により、県大会については補助金として宿泊費、交通費を各学校へ交付し、市内大会については、バス借上料、楽器運搬費などを支出する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>5大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明浜、宇和、野村・城川支部音楽発表会</li> <li>・西予市小学校陸上記録会</li> <li>・愛媛県小学校陸上運動記録会</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>教育活動の一環であるクラブ活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	7,443
取組事業	中学校各種大会出場補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>スポーツ及び文化活動等教育活動の推進及び体力の維持・向上に寄与するため、各学校からの申請により、補助金として各種大会に出場する生徒及び引率者の宿泊費、交通費等を各学校へ交付する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>8大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・愛媛県中学校総合体育大会</li><li>・四国中学校総合体育大会</li><li>・全国中学校総合体育大会</li><li>・愛媛県中学校新人体育大会</li><li>・愛媛県中学校駅伝競走大会</li><li>・全日本アンサンブルコンテスト南予大会</li><li>・全国箏曲コンクール</li><li>・全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会</li></ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>教育活動の一環である部活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	71,043
取組事業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 学校給食衛生管理基準に基づき衛生管理を徹底し、安心・安全な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を積極的に使用し、地産地消を推進するとともに、学校と連携し、給食交流会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 汚染区域・非汚染区域を分けるなど、学校給食衛生管理基準を遵守した施設を整備したことにより、安全・安心な給食を提供することができ、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図ることができた。今後は、関係機関との連携により地場産物の掘り起しを行い、積極的な使用により、さらなる地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動も展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	30,041
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全・安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うと共に、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安心・安全な給食の提供ができた。子どもたちの希望をとり入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら米飯週3回、パン2回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 児童・生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。児童・生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>		

(A表)

施 策	(5) 特別支援教育の充実
評 価	順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが、より豊かな学校生活を過ごせるよう、学習環境の整備と就学支援の充実に向け、関係機関で連携を深めながら対応の充実を図っている。</p> <p>また、市内の小・中学校で必要と認める児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう個に応じた適切な支援の提供に努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担 当 課	教育総務課	決算額 (千円)	60,156
取 組 事 業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 小学校9校に36人の生活支援員を配置した。平成28年度は48人、平成29年度は45人、平成30年度は45人の児童に支援を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 生活支援員が関わることで、級友の対象児童理解につながっている。また、生活支援員の声かけによって、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担 当 課	教育総務課	決算額 (千円)	20,694
取 組 事 業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 中学校5校に11人の生活支援員を配置した。平成28年度7人、平成29年度16人、平成30年度は14人の生徒に支援を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 生活支援員の関わりが、級友の対象生徒理解につながり、教室の移動など生活支援員の声かけによって、スムーズに学校生活を送ることができている。生徒のニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>自分の命を守るために、正しく判断して行動できる子どもたちの育成に向け、防災学習の充実に学校と連携しながら取り組んでいる。関係機関との連携を深め、地域ぐるみの学校安全対策を充実させることが重要である。</p> <p>メール配信サービスは、各校を通じて広く周知され保護者の多くが利用している。不審者事案の即時情報発信のほか、台風等自然災害時における休校等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献している。</p>

## ☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校や地域の安全確保の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	281
取組事業	不審者情報 メール配信 事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>西予市内で発生する不審者事案、自然災害対応等、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して情報発信を行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報 2件</li> <li>・自然災害対応・学校行事の変更及び園児・児童・生徒の状況(修学旅行等)等のメール配信 723件</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>不審者からの安全の確保、自然災害等への対応のためには、即時の情報発信が不可欠であり、今後も継続していく必要がある。</p>		



(A表)

施策	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>変化の著しい社会にあって、研修活動の充実と教職員の資質・能力の向上を図り、学校組織の活性化を図ることは、これからの社会に対応できる児童・生徒の育成に必要不可欠であると考えます。</p> <p>市所属部会や市教育研究大会は、専門職としての高度な知識・技能や総合的な人間力を高める上で有効な手段である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①市所属部会、市教育研究大会の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	201
取組事業	市教育研究大会実施事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 教職員の専門性を高めるため、市内の小中学校を会場として教科等委員会による授業研究を中心とした研修と部門会による職務内容に応じた研修を行う。</p> <p><b>【実績】</b> 11月6日に宇和地区の小・中学校を会場に13教科等の研究授業、教科等部会、4部門会を実施した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 市内の教職員が参集し、「豊かな心を持ち、自ら学びたくましく生きる西予の子の育成」の研究主題に沿った研修を行うことができた。令和元年度の開催後に令和3年度以降の開催方法についてアンケートを実施し、改善を図り継続して事業を行っていく予定である。</p>		

(A表)

施策	(10) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>西予市小・中学校再編計画の進展に伴い、遠距離となる児童・生徒の通学に供するため、スクールバスを整備し、再編後の教育環境整備を図ることができている。</p> <p>また、宇和地区を除く統合拠点校の整備は概ね完了しているが、その他の学校施設についても順次不具合箇所等の修繕が実施できている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 公立学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	97,032
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。 市所有スクールバス22台、民間車両1台の全23台 ○明浜小：2台 ○明浜中：1台 ○野村小：7台 ○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台 ○三瓶小：2台 ○三瓶中：2台 ○皆田小：1台</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成30年度についても、遠距離通学となる児童・生徒の通学に供するため、また、校外学習や各種教育活動等、より良い教育環境の整備を目的に、スクールバスの運行を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>西予市スクールバスは、遠距離通学の児童生徒の安全安心な通学を確保することを目的に整備されたものであり、年間を通して適切な運行を行えたことは、教育環境の整備向上に寄与することができた。</p> <p>今後もより良い教育環境の構築に向け、校外学習や各種教育活動に対する利活用を図り、教育効果を高める施策を展開していく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定あり（耐震化率）		
担当課	教育総務課	決算額（千円）	37,963
取組事業	中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 市内中学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改築し、安全・安心な教育環境を整備する。</p> <p><b>【実績】</b> 宇和中学校部室を改築した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 予定通り工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、中学校施設は経年劣化による修繕箇所が増加している。長寿命化も視野に入れ、トータルコストを縮減できるように検討する。</p>		

(C表)

成果指標	耐震化率			
達成状況	A：達成済			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）	
86.1%	100%	100%	13.9%	
分析・評価	小学校の統合により校舎の改築も順調に進み、平成28年度で目標とする100%を達成できた。			

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施 策	(1) 生涯学習の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくり・人づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。</p> <p>平成30年度豪雨災害による事業の延期や中止、また社会教育施設が被害を受けたり、避難所として開設される頻度が増加したことによる利用者減などがみられたが、災害の影響を最小限に留めるよう努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担 当 課	生涯学習課	決算額 (千円)	1,737
取 組 事 業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>子育てで孤立・孤独になりがちな保護者をサポートし、子育て応援のまちづくりを進めるため、①家庭教育・子育て応援活動（事務所での相談業務）、②情報の提供活動、③学習機会の提供、④イベントの実施の4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>相談件数は平成29年度が11件、30年度は7件と減少している。 学習会・イベントの実施は平成29年度が6件、30年度も6件であった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>家庭教育支援の必要性が高まっている一方で、定例相談の相談件数が年々減少しており、相談方法の見直しや関係機関とのネットワーク構築等が課題となっている。真に支援を必要とする人をサポートできるよう、継続的な取り組みが必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	971
取組事業	成人式開催事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むため祝福・激励する事業(式典、記念行事等)。</p> <p><b>【実績】</b> 平成31年1月3日に実施した。 ・対象者数 349名(男性192名、女性157名) ・出席者数 282名(男性158名、女性124名) ・出席率 80.8%</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 成人式で実施したアンケートでも「良かった」との高評価を得ており、今後も新成人が故郷である西予市を愛し、参加しようと思える成人式となるよう努めていきたい。</p>		

(A表)

施 策	(2) 公民館活動の推進
評 価	概ね順調
評価に対する分析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	1,505
取組事業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績・課題 今後の方向性	<p><b>【事業内容】</b> 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p><b>【実績】</b> 明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 通学合宿 成人教育 粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室 婦人教室 ホウ酸団子作り、ハーバリウム講座 家庭教育 人形劇鑑賞、子育てサロン 文化教育 産業文化祭(ふるさと芸能祭) 社会体育 地区民運動会、綱引き合戦、元旦走ろう会 ニュースポーツ大会、歩け歩け明浜海道</p> <p>総合教育 狩江地区公民館振興研究大会 高齢者教育 救命救急講習会</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 公民館は住民一人ひとりが自らの手でより住みやすく、誇りと生きがいを持てる地域に変えていくための活動拠点となる施設である。明浜地区では人口の減少や少子高齢化が急速に進んでおり、今後も子育て支援や高齢者の生活支援等、地域課題に向けた更なる学習の取り組みが必要となっている。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	4,696
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和地区）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。</p> <p>豪雨災害による影響で各地域で盆踊りや運動会など地域全体を巻き込む取り組みが自粛となる中、防災への関心が非常に高まった。また、子育てサロンの取組や放課後子ども教室など地域と連携した取組が広がりを見せている。</p> <p>○主な事業</p> <p>家庭教育 料理教室、つながり学級、子育てサロン      青少年教育 環境教育、通学合宿、放課後子ども教室      野外体験学習、防災キャンプ      成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室      ふる里探訪、健康教室      婦人教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級      レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）      高齢者教育 クロッキー教室、料理教室、健康教室、手芸教室      人権教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会      草の根懇談会</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>各公民館では、公民館職員の資質向上を図りながら、地域の代表である公民館運営審議員、各種団体と連携し、地域に必要な学習ニーズの把握に努めていく。学びへの参加のきっかけとなるよう、楽しさをベースとした学習活動、関心の高い学びの企画など参加者を呼び込む工夫が必要である。また多様な主体との連携や協働を推進し、熱意のある多様な人材を巻き込みながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりにつながる取組を推進する必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	769
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>それぞれの公民館において計画していた事業が、7月豪雨災害の影響で多くの事業の中止を余儀なくされたが、代替事業（スマホ教室）や規模の縮小を行うなど地域の特色を生かした事業を展開し、各団体や地域のニーズに応えるべく学習やイベント、体験の場の提供を行った。</p> <p>全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。また、のむらスポーツクラブ、ノルディック夢クラブと連携した住民の健康増進の取り組みを行った。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり交付金事業の展開、婚活イベント、南海トラフ地震を想定した全地区挙げての避難訓練及び防災マップの作成・無線通信訓練、中筋郷大門松ライトアップ、ダンスフェスティバル、横林しだれ桜ライトアップイベント</li> </ul> </li> <li>・青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>通学合宿、西予の川を守ろう会との連携、スポーツ交流会、1日キャンプ、田植え・稲刈り体験事業、交通安全体験事業、クッキング交流会</li> </ul> </li> <li>・婦人教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人学級、花いっぱい運動、人権学習会、料理教室、一日研修、ハーバリウム教室</li> </ul> </li> <li>・文化教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭、史談会の協力・援助</li> </ul> </li> <li>・高齢者教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり、クロッカー・グランドゴルフ大会、1日研修</li> </ul> </li> <li>・人権・同和教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>日だまり研修会、各小集落学習会、校区別人権・同和教育学習会、野村分会人権・同和教育推進員及び指導者研修会、野村支所課内人権・同和教育研修会</li> </ul> </li> <li>・生涯スポーツ <ul style="list-style-type: none"> <li>のむらスポーツクラブ・ノルディック夢クラブとの連携</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>今後の小規模多機能自治に向けた、地域づくり団体との協働の推進を行うとともに地域づくりが必要である。</p> <p>また、社会教育団体の在り方や行事内容について検討（統合・廃止・改変）を行い、将来も持続可能な組織体制や活動内容の再構築が必要である。</p>		



(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																
担当課	城川教育課	決算額（千円）	512														
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業																
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市民を対象に公民館が住民ニーズに合わせた講座やイベント等を実施し、各地区の特色を生かした社会教育事業を展開する。幅広い世代の生きがいや健康づくりの場とすることと併せて、地域活性化への取り組みを進める。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催し、各種団体、地域、学校と連携した生涯学習活動を展開した。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>青少年教育</td> <td>しろかわっ子夢大賞</td> </tr> <tr> <td>愛護班活動</td> <td>ジオの恵みで作り隊</td> </tr> <tr> <td>P T A活動</td> <td>親子チャレンジ・ジオサイクリング</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>門松設置</td> </tr> <tr> <td>婦人教育</td> <td>各種教室</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー大会、三世代交流</td> </tr> <tr> <td>人権・同和教育</td> <td>人権懇談会</td> </tr> </table> <p>しかしながら今年度は、西日本豪雨災害により、例年行われていたレクバレー大会、地区運動会、城川オリンピック、盆踊り花火大会は中止となった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>公民館は、地域の拠点施設として更に求められている。今後も各地域の課題と現状を見つめ、住民のニーズにあった各種事業、地域の活性化につながるような住民参加型の魅力ある事業を推進することが課題となっている。</p>			青少年教育	しろかわっ子夢大賞	愛護班活動	ジオの恵みで作り隊	P T A活動	親子チャレンジ・ジオサイクリング	成人教育	門松設置	婦人教育	各種教室	高齢者教育	クロッケー大会、三世代交流	人権・同和教育	人権懇談会
青少年教育	しろかわっ子夢大賞																
愛護班活動	ジオの恵みで作り隊																
P T A活動	親子チャレンジ・ジオサイクリング																
成人教育	門松設置																
婦人教育	各種教室																
高齢者教育	クロッケー大会、三世代交流																
人権・同和教育	人権懇談会																

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,252
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取り組みを進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながら、イベント及び講座事業を実施している。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>新規事業の実施や、既存事業は内容の見直しを行いながら取り組みを行った。事業の告知など、SNSによる情報発信を進めており、これまで参加が少なかった若年・壮年層の受講や参加が増えつつある。平成30年7月豪雨の影響で、夏期の事業が実施できなかった。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 動物ふれあい教室、 農業体験（稲作、パパイヤ）、書初め大会、 小学生バレーボール教室</p> <p>高齢者教育 高齢者学級、クロッケー大会、健康教室</p> <p>成人・婦人教育 料理教室、干支押絵づくり、 つるし雛飾り</p> <p>社会体育 分館交流球技大会、レクバレー大会、 健康ウォーク</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール作品展</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>人口減少等により生涯学習事業への参加者が減っていく中、3地区館合同で事業を行うことにより、住民の選択肢が増え、参加者の増加や満足度の向上に繋がっている。</p> <p>各地区館の特色を生かしながら、住民ニーズを的確に把握し、多様な学習機会が提供できるよう努めていく。</p>		

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体の育成と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	6,401
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助として交付する。</p> <p><b>【実績】</b> PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村町若葉会、野村ふるさとづくりの会、三瓶町幼児教育進行協議会の計11団体に補助金を交付した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> どの団体においても、会員の減少や高齢化、活動の低迷・マンネリ化が課題となっている。活動内容を周りに幅広く知ってもらうことで増員を目指すとともに、新規事業への積極的な取り組みにより活動意欲の向上と地域活性化につなげていく必要がある。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	(B) - (A)	
2.3	3.0	2.3	0.0	
分析・評価	目標に至っていないが、実施計画と事業の振り返りなど、2回以上の審議会を実施している。今後、中間期にも開催を促し、事業の改善・反映などに取り組むよう努める。			

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>市内71名の補導員による、定期的な街頭補導活動、またイベントや祭礼時の移動補導センターの開設を実施し、青少年の非行・被害防止に努めている。また、自転車通学生の点検指導や、合同補導など、学校や警察と連携した活動も展開できている。</p> <p>西予市内で平成30年中に検挙補導された少年は1人で、29年より1人減少しており、県下でも少ない水準を保っている（西予地区防犯協会・西予警察署『平成30年生活安全白書』）。</p> <p>しかしながら、インターネットやSNS、スマートフォンの普及により、問題行動が表面化しにくい状況となっており、今後の補導活動の在り方にも工夫が必要であると考え。引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、新しい青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

## ☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,366
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b>          青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行い、各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設するなど、青少年への声かけ・指導を実施していく。</p> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭補導 102回</li> <li>・出動補導員数 延べ363人</li> <li>・移動補導センター開設 13回</li> <li>・声かけ指導した少年数 112人</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b>          補導委員会各支部による計画的な街頭補導を実施した。しかし、7月豪雨災害の影響でイベント等の自粛により、街頭補導や移動補導センター設置回数は昨年度よりも少ない実施となった。          今後は、インターネットやSNS、スマートフォンの普及等に起因する問題等の対処法について、補導員も理解・学習を深める必要がある。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数			
達 成 状 況	C：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）	
130	130	102	△ 28	
分 析 ・ 評 価	災害等の影響で補導回数は減少となったが、補導すべき事案自体の件数の増減も関係しているため、概ね達成と判断した。補導活動は活発に実施できていた。			

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数			
達 成 状 況	C：未達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）	
20	20	13	△ 7	
分 析 ・ 評 価	補導センター設置回数が減少したのは災害によりイベントや祭礼行事が減少したことが原因である。実施されたイベントや祭礼等では例年通りに移動補導センターを開設し、会場での補導活動を行い、非行や問題行動を未然に防ぐことができた。			

(A表)

施 策	(4) 人権・同和教育の推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 する 分 析	人権・同和教育の推進において、部落差別解消推進法が施行され、この法律についての周知を図りまた意義や目的について学ぶとともに、部落差別の解消に向けた学習を進めてきた。災害により実施できなかった地区もあったが資料を配布し各自で学習し、一人ひとりが自分の問題として捉え、学習会に参加することが大切であることを認識した。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	② 人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成		
成 果 指 標	設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数）		
担 当 課	生涯学習課	決算額（千円）	915
取 組 事 業	人権教育推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>各地区の推進講師や推進員が指導者としての研修会を実施後、それぞれの地域で中心となり、地域住民を対象に学習会を開催している。部落差別解消推進法について周知を図るとともに同和問題を中心とした学習会を進めている。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>各地区において、地域住民が同和問題等に関するDVDを視聴した後その感想や意見交換を行い、また部落差別解消推進法についての周知を図るとともに法律の意義や目的について理解を深めた。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>学習会の開催において、参加者の固定化や若い人の参加が少ないため、学習方法や呼びかけについての工夫が必要である。近年では、インターネットの人権侵害が多発しており、このことについても学習を進めていかなければならない。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	14
取組事業	塔和子顕彰事業		
事業内容 実績 課題・今後の方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>13歳で社会や家族から隔離されてハンセン病療養所に入所し、1000編にもものぼる詩作を通してハンセン病問題や社会の在り方、人間の在り方・生き方について訴え続けた塔和子さんを市民とともに顕彰していく。</p> <p><b>【実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国立療養所「大島青松園」への訪問。</li> <li>○国立ハンセン病資料館・黒尾和久学芸部長が塔和子資料室を視察。</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>9月20日に開催した大島青松園訪問事業に、明浜中2年生16人を含む市民36人の参加があった。塔和子さんをはじめ入所者の方々が背負ってこられた苦しみや差別解消への闘いに共感することができたと考える。</p> <p>この事業を継続し、ハンセン病を患った人たちに対する国の施策や依然として残る偏見・差別による人権侵害について、人権教育の中で学ぶ大切な機会としていく。</p>		

(C表)

成果指標	地区別人権・同和教育懇談会開催回数			
達成状況	B：概ね達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	(B) - (A)	
154	154	148	△ 6	
分析・評価	平成30年西日本豪雨災害の影響で実施できなかった地域もあったが今後も継続していくこと、また若い人が参加しやすいような工夫をする必要がある。			

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	図書館の利用者数、貸出人数はともに微増している。少子化の影響もあり、全国的には平成22年をピークに貸出人数は減少傾向だが、本を借りる以外の目的で来館する利用者が増えていることも昨今の傾向である。レファレンスサービスのための資料の充実はもちろん、学習スペースの拡充やインターネット環境の整備など、図書貸出以外の機能を高めていくことが求められている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	593
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。乳児と保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけをつくる。重ねて、3歳児健診時にも絵本（5種類の中から1冊）をプレゼントし、小学1年生には「1年生のほんだな」の中から推薦図書を紹介したリーフレットを配布、読書習慣がつくよう継続的に実施する。</p> <p><b>【実績】</b> 関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児、小学1年生に対して漏れなく事業を実施できた。0歳児:185人、3歳児:226人、1年生:264人。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。子ども読書推進計画に沿って読み聞かせ活動の充実、ボランティア育成などで多角的に同事業をフォローする。</p>		



(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,569
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>検索システムによるレファレンスサービス、インターネット予約等の件数は増加している。中央館の閉館期間中の予約停止がアクセス数に影響した。</p> <p>○アクセス件数  新刊(新着)検索：H28 2,198件、H29 2,021件、H30 1,365件  貸出予約：H28 1,142件、H29 1,097件、H30 829件</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者が増えている。中央館では新館建設に伴い資料のIC化を実施、自動検索機の導入と併せ、資料の借りやすさに努める。また、資料検索が本を借りるだけでなく、長時間滞在できるような図書館となるよう環境整備を進め、読書人口の増加に努めていく。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）		
達成状況	B：概ね達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増 減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）
40,854	45,000	41,571	717
分析・評価	<p>インターネット予約や検索等、システムを活用する利用者が増加している。サービス向上に関する利用者の要望は増しており、それに対応するために業務の効率化と体制強化が必要である。中央館では自動検索機を導入しサービス向上に努める。</p>		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施 策	(1) 文化財の保護と活用
評 価	順調
評 価 に 対 する 分 析	<p>平成30年7月豪雨の影響で計画通りに事業が遂行できなかった面もある。一方で、2月に「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」が重要文化的景観に選定されるなど、これまでの取り組みが結実したものもある。</p> <p>また極楽寺阿弥陀如来坐像（県指定）の修理、歴史文化講演会の開催など文化財の保護や普及啓発にも取り組んでいる。引き続き文化財の保護と活用を計画的に進めるとともに防災の意識向上にも努めたい。</p>

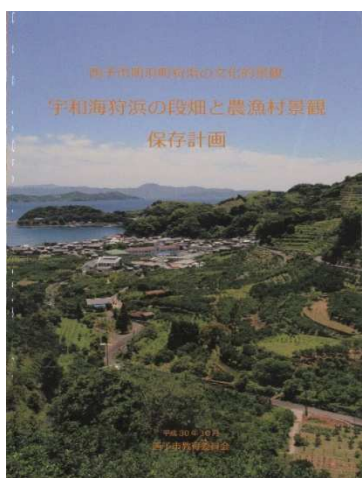
☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行っただことのある人の割合）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	4,521
取 組 事 業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内に所在する文化財の価値を洗い出し、市文化財保護審議会の意見をもとに指定したうえで、保存修理や防災防犯対策を講じることで適切に保存する。あわせて講演会等を通じて文化財の価値を広く市民と共有するほか、文化財の活用を図ることで、市民の文化的向上に資する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>宇和史談会、北海道大・久井貴世氏の協力を得て、江戸時代における宇和盆地のツル・コウノトリに関する史料を確認した。その成果は、第3回歴史文化講演会で久井氏に講演していただき、市民に公開した。</p> <p>歴史文化講演会では、「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」の調査成果をご講演いただき、狩浜の特徴や魅力の周知に努めた。</p> <p>平成30年7月豪雨災害で被災した行政文書（一部未指定文化財含）のレスキューに関して、専門家の指導を仰ぎ復旧作業を支援した。</p> <p>客人神社社叢（市指定）の樹木剪定、木造阿弥陀如来坐像（県指定）の保存修理に補助金を支出した。</p> <p>茶堂では道野々茶堂（蔵良）の整備に補助金を支出した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>7月の豪雨災害を経験したことで、文化財の防災に関する課題が浮き彫りとなった。こうした課題に対応しつつ、今後の文化財の保護と活用に関する計画策定について検討したい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定なし		
担当課	スポーツ・文化課	決算額(千円)	6,679
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>狩浜地区の文化的景観の価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へ継承するため、文化財保護法に規定された保護制度を運用し、保護・活用する。調査委員会指導の下、保存調査を実施し、価値を明らかにする。その価値を護るための保存計画を策定し、重要文化的景観の選定申出を行う。選定後は、整備・活用を図るための整備活用計画を策定し、保護・活用を図る。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>①景観協議会(2回:4月、5月)          ②保護審議会(3月23日、24日)          ③保護審議会委員及び保存会について地元との意見交換会(4回:9月、10月、12月、3月)          ④文化審議会文化財分科会第三専門調査会(10月)          ⑤保存計画発刊(10月)          ⑥官報告示(重文景選定)(2月26日)</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>平成31年2月26日、「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」が重要文化的景観に選定され所期の目標は達成された。また、選定後の計画的な修理・修景、保存・活用の基となる保存計画が完成、保護審議会が設置され、今後の整備・活用に向けた体制が整いつつある。</p> <p>今後は、地元組織の設置、地域づくりへの活用が課題となる。対応としては、令和元年度の早期に地元組織設置に向けた協議を行い8月中の設置を目指す。また、既存団体との活動の連携を図りながら地域づくりへ繋げていく。</p>		



宇和海狩浜の段畑と農漁村景観保存計画



第1回景観保護審議会(平成31年3月)

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	10,218
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行う。加えて、坪栗遺跡（山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>小森古墳（宇和町山田）を重要遺跡として位置づけ、引き続き試掘確認調査を行った。その結果、竪穴式石槨を2基確認することができた。また、宇和町岩木において、ほ場整備事業に伴う試掘確認調査を実施し、多数の遺構や遺物を確認した。</p> <p>整理作業では、上記遺物に加え、坪栗遺跡の遺物の整理を行った。</p> <p>歴史の道については、明石寺境内および大寶寺道について、国史跡追加指定の意見具申を行った。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>今後は分布調査を継続しつつ、引き続き小森古墳の試掘確認調査に重点を置いて継続的に調査を行う。歴史の道調査では、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）の意見具申を目指す。</p>		



小森古墳（宇和町山田）試掘確認調査



岩木地区ほ場整備試掘確認調査

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	988
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 愛媛県指定有形無形文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。「こども朝日文楽クラブ」等の後継者育成指導を行っている。</p> <p><b>【実績】</b> こども朝日文楽クラブ、三瓶高等学校文楽による定期公演や県文楽合同公演大会への参加や出前公演、文化祭にも参加した。また、朝日文楽沿革誌改訂第三版を発刊した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するために、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成も必要である。また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、文楽会と協議し計画的な修繕を行っている。</p>		

(C表)

成果指標	文化財を見に行ったことのある人の割合			
達成状況	D：不明			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）	
70.9%	75.0%	-	-	
分析・評価	30年度はまちづくりアンケートを実施していない為、実績値は出せないが、歴史文化講演会や駅からウォーク等のイベントに多くの市民参加があったことから文化財に対する関心の高さがうかがえる。			

(A表)

施策	策	(2) 文化の振興
評価	価	概ね順調
評価に対する分析		<p>西予市内の中学生が長野県松本市の異文化に触れることで新たな創造性が生まれ、両市の中学生同士の交流が友情を育んでいる。これらの経験が豊かで創造的な青少年の健全育成につながっている。</p> <p>伝統芸能をはじめとする文化活動の取組は、高齢化や後継者不足など課題は多いが、行政主体で進められてきた取組は、実行委員会形式等で自分たちが主体的に関わる意識が芽生えてきた。今後も、市民が幅広く文化に親しむことができる環境を充実させていくことに努めたい。</p>

## ☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	三瓶教育課	決算額(千円)	2,100
取組事業	宮中雲子音楽祭補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>平成10年度から、当市出身の詩人宮中雲子先生の、第8回サトウハチロー賞受賞を記念して、合唱コンクールとして開催し、平成30年度第21回目を数えた。コンクール部門(少年少女の部・一般の部)及びフェスティバル部門(無審査、講評有)で構成し、市内外からの参加者を募っている。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>県内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図れるとともに、県内外で人気のある音楽祭となっている。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>県内外で人気のある音楽祭となっており、その場を西予市が提供しているということで、市のイメージアップに繋がっている。市内の参加団体が少ない。市内から参加いただく団体を増やす工夫が必要。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	457
取組事業	文化振興事業（ふるさと芸能祭補助事業）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 西予市文化協会宇和支部に加盟する団体を中心に組織する実行委員会主催で、宇和地区の舞台芸術、伝統芸能の発表を行うほか、体験教室を実施する。</p> <p><b>【実績】</b> 11月4日（土）に、フラダンス、和太鼓、フォークダンスの体験教室を実施し、計39名の参加者があった。11月5日（日）には芸能祭を実施し、18団体が発表を行った。今回は新たにジェントル・ゲザング（男声合唱団）が出演した。当日は、最大200名、延べ400名程度の来場者があった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 最近の課題として、①若い世代の参加増、②観覧者が求める発表、③市民への文化の魅力発信が挙げられる。これらに対応するため、今年は芸能祭では文化協会以外から1団体を招いた。来場者は昨年並みであったが、ここ2年はそれ以前と比べ100名程度の減となっている。今後、新たな団体、若い人々を取り込み団体間の交流を図るとともに、いっそう市民への宣伝に努める必要がある。</p>		



体験教室（お伊ね太鼓）の様子



宇和町ふるさと芸能祭（ジェントルゲザング）

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	16,977
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> かまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品の選考を実施。7月14日から12月2日まで第24回全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催。応募作品はすべて展示。</p> <p><b>【実績】</b> 全国46都道府県及び海外からはインドネシア等から応募があった。16,590人から9,015点の作品が寄せられた。122日の期間中（7月14日から12月2日）、入館者は6,117人だった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 応募点数が前年に比較してやや微増した。高齢化、人口減少に伴う応募数の自然減は今後も避けられないため、事業の転換期にあることを意識しながら新規応募者への応募呼びかけや事業運営を行う。</p>		



第24回全国「かまぼこ板の絵」展覧会の様子



(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	600
取組事業	奥伊予ふるさと祭補助事業		
事業内容	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>11月第2土曜日に開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川地域の産業祭と文化祭を合わせたイベントである。産業と文化振興により地域の活性化を図るとともに、市民の生きがいづくりを目的としている。昨年からは、土曜日の1日開催となった。</p>		
実績	<p><b>【実績】</b></p> <p>文化展のメイン会場である総合センターしろかわでは、文化協会城川支部加入団体の作品展示や発表会を行った。また、JAを会場に産業展や各種団体による特色ある展示や多彩なイベントを開催した。</p>		
課題・今後の方向性	<p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>1日に集約したことにより、例年よりにぎわいがあつた。しかし、少子・高齢化・イベントのマンネリ化により客数が減少傾向にある。例年、関係団体が工夫を凝らした展示やイベントに取り組んでいるが、今後は支所周辺の開発に合わせて活性化に取り組んでいきたい。</p>		



文化協会発表（民謡）（写真左）と福もちまき（写真右）

(C表)

成果指標	芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合			
達成状況	D：不明			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	（B）－（A）	
17.9%	20.0%	-	-	
分析・評価	平成30年度は、まちづくりアンケートを実施していないため、芸術文化活動に取り組んでいる市民の割合は確認できないが、ここ数年18%前後で推移し安定していると思われる。色々な文化活動に対して参加しやすい環境の提供や取組が必要である。			

(A表)

施策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>市内2つの文化会館は共に平成2、3年に開館し老朽化が著しい。施設内の設備を改修し、利用しやすい施設環境とすることで来客者の増加を図っている。</p> <p>宇和文化会館では平成29年度にトイレの洋式化改修を完了し、三瓶文化会館では空調改修、屋根防水改修を行っている。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりが利用者の増加につながると思われる。今後も改修計画を立て緊急性の高い箇所から整備を進めていく必要がある。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	34,855
取組事業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館へ管理委託し、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理しており、現在4度目の更新中である。この指定管理者に対して、文化会館管理運営委託料を支出するものである。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成30年度の施設改修は実施していないが、点検業者が指摘した不具合箇所等を参考に改修計画を立てた。</p> <p>イベント事業としては自主事業を5公演、共催事業を8公演実施し約9,000人を集客した。貸館利用では、年間937件、44,655人の利用促進につながった。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>老朽化した施設の改修を計画的に実施し、令和2年度に舞台の吊物機構の改修を予定している。利用者の利便性はもとより、安全に配慮した市民目線に見合う文化会館を目指す。</p> <p>文化事業は鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着している。今後も定期点検報告により、緊急性の高いものから改修し、安全・安心を確保しながら利用者の増加につなげる。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	93,183
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p><b>【実績】</b> 平成30年度利用実績延べ27,636人。コンサート、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民の方に利用いただいた。30年度は、外壁改修工事、舞台袖幕修繕を実施した。</p> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 平成2年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民の方に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	施設や展示物の満足度		
達成状況	D：不明		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	(B) - (A)
23.8%	25.0%	-	-
分析・評価	まちづくりアンケートを実施していないため、施設や展示物の満足度の具体的数値を確認できないが、事業内容の精査や利便性の向上に努め、計画的に施設のトイレ洋式化改修や舞台設備改修等を行ってきた。また、今後も計画的に施設修繕を行い、利用者の満足につなげたいと考える。		

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(A表)

施策	(1) スポーツの普及・推進
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>国民体育大会や全国大会の各種大会に出場する西予市民に対し、顕彰に努めた。えひめ国体終了後も、全国大会に出場を果たし、全国レベルで活躍する選手・団体が後を絶たない。</p> <p>スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツイベントの開催など市民の健康・体力の保持増進のほか、相互の親睦・交流を深めてスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。</p> <p>老朽化したスポーツ施設が多くあり、適切な維持管理に努めるとともに、施設整備が課題である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	150
取組事業	総合型スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b> 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p><b>【実績】</b> 平成30年度実績は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みかめスポーツクラブ 50千円</li> <li>・のむらスポーツクラブ 50千円</li> <li>・文化の里スポーツクラブ 50千円</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b> 各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すことと、市民の健康増進に向けてのきっかけづくりが今後の課題である。また、平成27年度ですべてのクラブがt o t oスポーツ振興くじ助成期間が終了。健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制の構築が必要であることから、平成28年度から健康づくりを推進するための事業を委託し、3年目が終了した。今後の取り組みに役立てるために、事業成果を検証し今後のクラブ活動につなげたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	1,446
取組事業	朝霧湖マラソン大会支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>毎年5月3日（祝）開催で、コースはハーフマラソンと10kmロードレース、定員は3,000名にて実施する大会。</p> <p>西予市ホームページや公式facebookで、大会の魅力を情報発信している。大会スタッフは、実行委員会のほか、地元住民や中高生にボランティアを呼びかけ運営にあたっている。</p> <p>全国からのランナーや観光客を受け入れており、地元住民との交流を図り、地域活性化や生きがいづくりにも寄与している。</p>		
	<p><b>【実績】</b></p> <p>第27回四国せいよ朝霧湖マラソンを開催。全国から3,176名の申し込みがあり、2,815名のランナーが参加した。</p> <p>ホームページをリニューアルし、情報発信の強化を図った。また公式facebookでの、“いいね”数は1,288件（前年比+100件）</p> <p>ニュースフィードのプレビューは10,000件を超えることもある。また、マスメディアへのプレスリリースを活用した情報発信にも努めた。</p> <p>今大会は各種メディアでも報道（放映）していただいた。全国ランニング大会100撰にも4年連続選出され、ランナーの中では認知度が広まっている。申込期日を2月28日としていたが、申込期日前に定員の3,000名に達したため、申し込みを締め切った。</p> <p>地元においても本大会はGWの風物詩として定着し、多くの方が沿道で応援されており、ランナーにおいても年間を通して試走をされる方が多くなってきている。特に3月、4月は顕著であり、延べ数百人のランナーが試走をされている。</p> <p>また多くの中・高生スタッフがボランティアで参加していただき、地域イベントを通して、地域の方とのふれあいの機会が増え、主体性、奉仕の心を育むことができ、次世代を担う人材育成にも寄与している。</p> <p>ランネットにおける総合評価が77.1点。評価者も224名（前年比+109名）であり、コメント内容も肯定的（賛辞）な意見が多かった。特に中高生ボランティアに対する賛辞が多く、満足度は高かったと思われる。運営組織は充実しており、各係では長年スタッフを担っている方が多く、自主的、計画的にスペシャリストとして責任と誇りを持って業務にあたっている。</p>		
	<p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>大会における参加者満足度や大会を通しての人材育成に貢献できている。また全国的にも知名度の高い大会になってきつつあるので、今後は情報発信力を高めて、さらなる認知度を上げていき、大会の質も高めてより良い大会を目指す。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	2,059
取組事業	全国大会出場選手支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p><b>【事業内容】</b></p> <p>県予選等を経て全国大会へ出場する選手へ15千円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20千円（団体競技の場合は上限300千円）の報奨金を交付する。また、高校生以下の選手には、懸垂幕も作成・掲出し市民に周知する。</p> <p><b>【実績】</b></p> <p>平成30年度実績は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懸垂幕28本 報奨金62人</li> </ul> <p><b>【評価・今後の課題・対応方向】</b></p> <p>インターハイ・国体等の全国大会への出場選手が近年増加し、懸垂幕の掲出場所の関係で連名となったり、出場選手数の予測が困難なことや事後申請となることもあるため、今後は市スポーツ協会や学校等から情報提供を得ることで解消に努めたい。特に懸垂幕の掲出場所については、本庁だけでなく、申請者の了承を得て学校・公民館・支所など可能な場所に少しでも長く掲出できるような対応を取っている。</p>		

(C表)

成果指標	市民の週1回以上のスポーツ人口率		
達成状況	D：不明		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成24年度	平成30年度	平成30年度	(B) - (A)
26.0%	50.0%	-	-
分析・評価	<p>まちづくりアンケートを実施していないため、市民の週1回以上のスポーツ人口率の具体的数値を確認できていないが、総合型スポーツクラブやスポーツ協会等との連携により、競技スポーツだけでなく、高齢者などを中心にニュースポーツに親しむ人が増えてきた。</p> <p>当初は旧各町単位での総合型スポーツクラブの設立を目標にし、スポーツ人口の増加を目指していたが、明浜や城川ではキーパーソンとなる人物がスポーツ協会と重複し、3町（宇和・野村・三瓶）の総合型スポーツクラブ設立となっている。</p> <p>今後は、今以上のスポーツ協会やスポーツ推進委員協議会の連携強化によりスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。</p>		

## V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

### 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

#### (1) 確かな学力の育成

##### 【学識経験者の意見】

(生徒国際交流事業)

過去の経緯もあると思うが、現在の事業の方向性（募集定員等）はどうなっているのか。また、派遣生徒が他の生徒へ還元する機会を設けているのか。

本事業は個人負担もあるなかで成果ばかりに重きを置くのはいかがなものか。こういった経験をする 것도大事ではないか。

(小学生夢チャレンジサポート事業)

この事業に関連し地域に良い影響が出ているので、今後も見守って行きたい。

#### 《今後の取組の方向性》

(生徒国際交流事業)

募集定員は、平成 30 年度から 18 名としており、内容は、ニュージーランドにおいてホームステイと現地校との交流を行っている。派遣生徒が、その成果を文化祭等で他の生徒に伝えている。

西予市で生活している中学生にとって海外の文化に触れる機会は、都会と比べて少なく貴重な経験であるため、なるべく多くの生徒によりよい経験をしてもらいたいと考えている。応募生徒によって派遣に対する思い入れに差があり、海外で辛い思いをする場合もある。せつかくの海外派遣が生徒にとってより良い経験にならず残念に感じる場面もあるため、成果を重視するというだけでなく、事前研修をする中で経験が有意義なものになるよう指導していきたい。

(小学生夢チャレンジサポート事業)

これまで選定した事業においては、地域資源を活かした夢を実現する内容であった。来年度については、募集の時点でふるさと学習に繋がるテーマを要件として事業を実施する予定である。

#### (3) 健やかな体の育成

##### 【学識経験者の意見】

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

食物アレルギーの子どもや調理員の健康管理について配慮していただきたい。

#### 《今後の取組の方向性》

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

食物アレルギーへの対応については、そのアレルゲン物質や程度に応じて、可能な範囲で除去・代替・弁当（全部・一品）持参等の対応を行っている。平成 28 年度からは、学校生活管理指導表による学校・家庭・給食調理場・消防署との連携をより一層図ることとしており、今後アレルギー対応ガイドラインを策定する予定である。

調理員の作業は、決まった時間内で安全・安心な調理を行うことが求められ、心身ともに厳しい業務でもある。施設内の整備とあわせ、調理員にとって働きやすい環境整備に引き続き努めていきたい。

#### (7) 安全・安心な学校づくりの推進

##### 【学識経験者の意見】

(不審者情報メール配信事業)

青パトへのメール配信をお願いしたい。

##### 《今後の取組の方向性》

(不審者情報メール配信事業)

平成30年度にメール配信システムの業者を変更し、再登録の作業を実施した際に、登録漏れが生じているものと思われる。該当の学校にて配布の手順書に従い登録を行うことで、受信が可能になるので、再度、学校を通じて周知することとしたい。

#### (10) よりよい教育環境づくりの実現

##### 【学識経験者の意見】

(小中学校施設整備事業)

空調設備の整備は怎么样了。

##### 《今後の取組の方向性》

(小中学校施設整備事業)

空調設備の整備は、平成30年度12月に採択となった学校施設環境改善交付金を活用し、大野ヶ原小学校を除く市内全小中学校に空調設備の設置工事を進めている。災害の影響を受け、着手が遅れたが、令和元年11月から工事に着手し、令和2年3月完了見込である。

## 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

#### (1) 生涯学習の推進

##### 【学識経験者の意見】

(家庭教育支援事業)

家庭教育・子育て応援活動の相談業務について、相談員の性別や年齢層を幅広く設定し、相談し易い環境に配慮してほしい。併せて周知も行ってほしい。

##### 《今後の取組の方向性》

(家庭教育支援事業)

周知方法については、リーフレットの配布や広報せいで周知しているが、その他の周知方法や相談員の性別や年齢層も含め今後検討して行きたい。

#### (2) 公民館活動の推進

##### 【学識経験者の意見】



(社会教育団体育成事業)

社会教育団体は諸問題により衰退の可能性があるが、働きかければ動く団体なので配慮をお願いしたい。

#### 《今後の取組の方向性》

(社会教育団体育成事業)

各団体への補助金の増額は見込めないが、研修会、講習会の参加呼びかけや事業についてのアドバイスなど、ソフト面で積極的に支援するとともに、自主的な運営に向けて育成に努め、各団体を活性化させていきたい。様々な社会活動団体が立ち上がっている現在、社会教育団体の活動の意義やあり方など会員、担当者の相互が確認しておく必要がある。

#### (4) 人権・同和教育の推進

##### 【学識経験者の意見】

(人権のつどい事業)

合併前旧町のノウハウを生かしボトムアップされるべきであると考えられるが、一般的事業に落ち着いているように感じられる。

3町のみで実施されているが、後の2町は必要ないということではない。

各町のやり方はまちまちで難しいかもしれないが、一本化するところは一本化して、市民が平等に教育や研修を受けられる体制づくりに努めてほしい。

#### 《今後の取組の方向性》

(人権のつどい事業)

人権問題の解消を推進する体制が、教育委員会の人権教育と市長部局の人権対策に分かれているが、令和2年度からそれらを一本化する予定で進んでいるところである。併せて両分野の事業の見直しなども行う必要があると考える。人権のつどいは、宇和、野村、城川で実施してきたが、令和2年度から明浜でも実施の予定である。

#### (5) 図書館活動の推進

##### 【学識経験者の意見】

(図書館活動の推進(施策))

図書予算が少ないのではないか。

家庭にある本を再利用できないものか。市民に周知をしてはどうか。

#### 《今後の取組の方向性》

(図書館活動の推進(施策))

図書購入予算は令和2年度は大きく増額の予定である。

リサイクルについては随時受け付けている。広報等でさらに周知を考える。本の状態の良いものを受け入れ、活用を図っていききたい。また、分館(三瓶、明浜、城川各館)は書架がほぼ満杯の状態となっており現状では主な受け入れ先がまなびあんと野村分館になっている。まなびあんは開館以降も整理が追い付かないほど寄贈書籍があり、

随時受け入れ(登録)処理を進めている。

### 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

#### (1) 文化財の保護と活用

##### 【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

先般の首里城のこともあるが、文化財を守っていくのは大変だがお願いしたい。

(文化的景観保護推進事業)

文化的景観保護推進事業はこれからが本格的か。

##### 《今後の取組の方向性》

(文化財保護推進事業)

引き続き文化財の調査を進めるとともに、修復が必要な文化財に対しては、補助金を充て保存に努めると共に、文化財の調査成果については歴史文化講演会等を通じて広く市民と共有し、文化財保護意識の啓発に努める。また、昨年7月豪雨災害の経験も踏まえ、文化財の防災対策に、県や関係機関と協力しながら取り組んでいきたい。

(文化的景観保護推進事業)

「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」の価値が認められ、平成31年2月に重要文化的を景観に選定された。今後は、整備計画を策定し、地元と協議行いながら次年度以降、重要な構成要素の整備を進め、活用を図っていく。

#### (2) 文化の振興

##### 【学識経験者の意見】

(全国かまぼこ板の絵展覧会事業)

決算額が1,700万円となっているが、高額ではないか。

##### 《今後の取組の方向性》

(全国かまぼこ板の絵展覧会事業)

西予市ならではの「かまぼこ板の絵」文化の継承へ向け、今後はかまぼこ業者との連携や、表彰式には地域と一体となった新たな取り組みを図っていきたい。

### 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

#### (1) スポーツの普及・推進

##### 【学識経験者の意見】

(全国大会出場選手支援事業)

全国大会の懸垂幕は励みになり評価できる。

(スポーツ施設の整備・充実)

将来的に、温水プール建設の予定はないか。

水泳をやりたい子どもが市外に出ていく。ひとつ核になるものを作れば、そこから派生するものがあるのではないか。

リハビリとして活用する方法もあり、健康増進に寄与できるのではないか。

#### 《今後の取組の方向性》

(全国大会出場選手支援事業)

インターハイや国体等の出場選手は近年増加しており、選手の励みになり、市民のスポーツに対する意識の高揚を図るためにも、今後も本事業を継続して行っていきたい。

(スポーツ施設の整備・充実)

今年度、第2次スポーツ振興計画を策定し、その中で基本目標のひとつとして、スポーツ施設の整備・活用についても掲げ検討していく。国体で整備した施設の活用も考慮し、市民のスポーツの実情や市の財政事情を鑑みながら進めていきたい。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : [kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp](mailto:kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp)